



「JKビジネス」はNO!

～危険が潜んでいる「JKビジネス」～

近年、大都市の繁華街を中心に女子高校生等によるマッサージ、会話やゲームを楽しませるなどの接客サービスを売り物とする営業が見られ、「JKビジネス」と呼ばれています。

一見すると問題のないアルバイト先に見える場合でも、女子高校生等が客から児童買春等の被害に遭うなどのケースが目立っており、安易に働くことはとても危険です。

《営業に関する検挙事例》

- 「リフレ」の経営者は、女子高校生を雇い入れ、店内の個室において、客の求めに応じて身体を接触させるなどのサービスを行わせていた。
- 「撮影」の経営者は、女子高校生を雇い入れ、店内の個室において、客の求めに応じて胸部等をことさら強調する姿勢を撮影させるサービスを行わせていた。
- 「コミュ」の経営者は、女子高校生を雇い入れ、店内の個室において、客の求めに応じて性交をさせるなどのサービスを行わせていた。

リフレ:女子従業員に制服やパジャマ等を着用させ、個室において、客の身体のマッサージや添い寝をするサービスを提供する形態の営業。
コミュ:女子従業員との会話を主体とするサービスを提供する営業。サービスの例としては、会話、占い、カウンセリング、ゲーム等がある。



「JKビジネス」は手軽なアルバイトではなく、危険なアルバイトです。絶対に働いてはダメ!

「JKビジネス」に係る各種トラブルに遭った際は、全国に設置してある警察相談専用窓口「#9110」や近くの警察署・交番等に相談しましょう!

警察では、「JKビジネス」に関して各種法令を適用して厳正に取り締まるとともに「JKビジネス」で稼働する女子高校生等についても、街頭補導を推進しています。



町長室から 梅田 穰

「棚田も心も潤して167年守り続けた通潤魂、未来へ」白糸第一自治振興会(代表 山村伸吾さん)が第60回農林水産祭「むらづくり」部門において天皇杯を受賞されました。

この受賞は農林水産大臣表彰を受けられた全国345点の中から選ばれたもので、熊本県においては初受賞とのことです。通潤橋と通潤用水は167年前に完成し現在も約118haの棚田を守り続けています。特別栽培米を導入し販路拡大に取り組みされており、文化庁の重要な文化的景観選定後は地域ぐるみで食や環境に対する意識の共有化に取り組みしております。特に女性部においては廃油を使った石鹸づくりや講演会・町議会傍聴など、地域の生活環境の改善に積極的に取り組んでおられます。今回の受賞には都市住民とのボランティア活動を通じた交流などが高く評価されたと聞いております。今後とも通潤橋と通潤用水、棚田を守りながら地域活動を続けていきたいと思います。

10月24日の山都町議会議員選挙で14名の新しい議員が選出されました。活発な議会活動により町の発展に共に進んでまいりたいと思います。今回引退される方には長年、町政に携わっていただき心から感謝申し上げます。今後も山都町のために御協力をお願いいたします。

山都町社会福祉協議会へ寄付ありがとうございます

いただいた香典返し(寄付金)は地域福祉の活動に使わせていただいております。

写真は9/24(金)に開催した、「地域福祉サポーター養成講座」の修了式の様子です。

全3回を通して、25名の方に地域福祉サポーターになっていただきました。



山の都地域しごとセンター通信 vol.45

～山都町農業研修制度 5期生の研修がスタートしました。～

9月より山都町農業研修制度研修生5期生として、荒木優里(あらき ゆうり)さんがYASKI FARM(金内、鳥越靖基さん)にて農業研修をスタートされました。この制度は山都地域担い手育成総合支援協議会が実施している農業研修制度で、受入農家さんの下で1～2年の研修を経て、新規就農や雇用就農を目指す制度です。荒木さんは山都町島木出身で地域の担い手として有機農家を目指して研修中です。山の都地域しごとセンターでは平成30年から山都町で農業をしたいという方の相談対応やサポートを行い、5名の新規就農者を誕生させています。これからも山都町の農業担い手育成のサポートを行っていきます。



※農業や空き家や移住・定住に関するお問合せは、お気軽にどうぞ。

山の都地域しごとセンター ☎ 72-9111 e-mail:yamato.shigotocenter@machi-y.jp

編集後記

記念すべき200回目の発行となりました!この号を担当することができて本当に嬉しく思います。さて、3ページ目では過去の「広報やまと」を振り返りました。このページを作る際、当時広報担当だったFさんにお話を伺いました。Fさんは「うわあ、下手だな〜」「なんだこのページは!」と言いつつも、嬉しそうに広報誌を振り返っていたのが印象的でした。歴代の広報担当者や他市町村の広報担当者の方とお話をしている毎回思いますが、「何でも話してくれるんだなあ…」と。大変だったことも楽しかったことも編集のコツまで、皆さん惜しみなく全部教えてください。(澤村)